



聖心女子大学
「聖心歳時記」

@SeishinDiary



聖心女子大学「聖心歳時記」

作成者: goukaku@u-sacred-heart.ac.jp [?]

「いいね！」済み・8月13日・編集済み

シリーズ学生記者が行く

—広尾Walking2017—

Tea Ceremony Salon

忙しい日々を送っている方もほっと一息つける憩いの空間であるお茶室、Tea Ceremony Salon。ビルの5階にある一室のドアを開けると、そこには和モダン—現代的和風スタイルのシックで落ち着いたお茶室があり、思わず都会にいることを忘れてしまいます。緑が豊かな景色を望むベランダを使った小さなお庭や掛け軸、季節のお花、また釘を使わず組み木で作ったランプもあり、内装は「和」を意識したこだわりが詰まっています。

「このお茶室で『マインドフルネス』を体感していただきたい」と、オーナーの河野さんは語ります。『マインドフルネス』とは、その一瞬に意識を傾けることで、しなやかに豊かな心をめざすというものです。この『マインドフルネス』という心の状態は、まずは外国で注目され始め、別の言葉では「瞑想」とも言うことができますが、実はこれは、日本における「座禅」によって培われるものでもあるのです。

河野さんは、茶道を通じて気軽に『マインドフルネス』をより多くの方々に体験してもらいたいと思い、Tea Ceremony Salonを始めました。立地上、都心に近いのももちろんお勤めの方々もお越しになりますが、外国人の方もいらっしゃるのだとか。

茶道というと、敷居が高いイメージをお持ちの方もいらっしゃると思いますが、Tea Ceremony Salonでは、お客様に気軽に茶道に触れてほしいという思いから、正座ではなく、椅子に座って行い、お作法も優しく丁寧に教えてくださいます。体験された方は多くは、気持ちが落ち着いたとおっしゃるそうです。

ご自身もとても忙しいお仕事をされながら茶道を続けて来られた河野さんは、「茶道で培われる、人を気遣う心、おもてなしの心は仕事においてとても重要です。人を気遣うことで、今まで見えていなかった周りのことが見えるようになります」と教えてくださいました。

茶道は、気持ちをリフレッシュできるだけでなく、そこで養われる『マインドフルネス』や人を思いやる心は人との関わりや仕事にも活かすことができます。忙しく流れていく日常の中で、私たちが忘れがちになってしまう心のゆとりを、日本古来より受け継がれてきた茶道は取り戻してくれるのかもしれませんが。

SRS(聖心 Radio Station)部員 松村 のぞみ(1年)

広尾散歩通りMAP “Tea Ceremony Salon”さんはB-2です。 <http://www.hiroo.info/>